



「学校」はこんなに楽しい場所でした。

激動のAI時代に対応するため、2020年度から教育指導要領が、「アクティブラーニング(探求学習)」に大きく舵を切り、日本の公教育が揺れています。30年前から「体験学習」を実践している先進的な学校があります。宿題がない、テストがない、「先生」がない、「きのくに子どもの村学園」です。この学校のスローガンは、「まず子どもをしあわせにしよう。すべてはそのあとに続く」。

60年以上成績通知表がない「総合学習」を続ける伊那市立伊那小学校。校則ゼロ、定期テストをやめた、世田谷区立桜丘中学校の西郷孝彦前校長。本作には、子どもファーストな3つの学校が登場します。

ナレーションは、ドラマ「北の国から」の名優 吉岡秀隆。エンディングテーマは、ザ・ブルーハーツの「夢」。全国1000箇所で開催された大ヒット映画「いただきます」シリーズのオオタヴィン監督が「教育」をテーマにエモーショナルな映像で描きます。わくわくするシーンの連続、童心に帰ったような初々しい感動。「ミライの教育」を探る 感涙のドキュメンタリーです。

予告編見てね!



小学生が作ったよ!



ナレーション
吉岡秀隆

映画出演者コメント

子どもも楽しい、教師も楽しい。体験学習を楽しみながら「考えるチカラ」が身につくのです。



堀 真一郎
(きのくに子どもの村学園 園長)

体験学習は、前頭葉を発達させ、非認知能力を高め、しなやかな脳のネットワークを作ります。



茂木 健一郎
(脳科学者)

この映画は、「教育の本質」をみせてくれます。「子どもファーストの学校」の姿を、みてください。



尾木 直樹
(教育評論家)

子どもの村の卒業生たちは、自分の頭で考え、「問う力」が際立っていましたね。



辻 信一
(文化人類学者)

意味のない校則は子どもの考える力を奪うので無くしました。公立学校も、実は、かなり自由なんだよね。



西郷 孝彦
(世田谷区立桜丘中学校 元校長)

あなたの町でも「夢みる小学校」を上映しませんか。自主上映のお問合せお申し込みはまほろばスタジオ



「夢みる小学校」上映会 12月13日(火) @湘南台文化センター市民シアターホール

主催者からのメッセージ

この学校の宣伝をしなくて上映会を企画したわけではありません。映画に登場する子どもたちがのかがやいている姿を 地元の湘南台で大きな画面で みんなで観たい! と企画しました。

公教育にも「わくわくと多様性」を!!
みなさんの参加を心よりお待ちしております

◎前売り一般 1000円 当日 1200円
18歳以下無料(チケットは必要です)

◎会場:湘南台駅東口徒歩5分

◎上映時間:10時半~12時10分

この回乳幼児連れの方歓迎

17時半~19時10分

開場はそれぞれ30分前 自由席

◎チケット取扱い:(各回定員は300名です)

(公財)藤沢市みらい創造財団(市民会館)
湘南台文化センター市民シアター

QRコードでもお申込できます

お問い合わせ:

yume.shounan@gmail.com

TEL:050-3479-5337



主催 湘南台で「夢みる小学校」を観る会実行委員会

共催 公益財団法人藤沢市みらい創造財団